

平成 26 年 9 月 28 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

愛餐会

司 会 : 平松章治兄
奏 楽 : 小島明美姉
おいのり : 加藤由美子姉
さんび : 新聖歌 196「祈れ物事」1. 2. 4 節
ヤベツの祈り
聖 書 : ヨハネによる福音書 12 章 20~26 節 (P.161)
(朗読: 平松友子姉)

音 楽 : 倉知 契牧師
証 し : 赤塚敏郎兄

メッセージ : 「豊かに実を結ぶために」 倉知 契牧師

賛美と献金 : 新聖歌 233「驚くばかりの」

洗 礼 式

頌 栄 : 新聖歌 63 父御子御霊の

祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 皆様を心から歓迎です。持ち寄り昼食会に自由にご参加ください。
- ◇ 受洗おめでとうございます。月山富美子さん。お祝いします！
- ◇ 来週は、大和からミッションチームが来ます。土曜4時に賛美集会。
日曜日は、賛美も証もメッセージも新鮮でパワフルな礼拝です！
- ◇ 10/19(日)三浦綾子さん「氷点」スペシャルです。お楽しみに。
10/25(土)ジョイキッズ秋祭り(今日の午後SS教師会します)
- ◇ 読書(Bible)の秋、収穫の秋、祈りの秋となりますように。
- ◇ 受洗希望の方は、いつでも牧師にご相談ください。
080-4672-8048 kei@yamatocalvarychapel.com(倉知)
- ◇ 祈禱会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈禱会11時15分
- ◇ 祝大 Aコース IIコリント12章~ガラテヤ5章 Bコース 雅歌1章~イザヤ12章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年10月5日] [役員会]
[司会: 赤塚敏郎兄、いのり: 平松友子姉、聖書朗読: 加藤由美子姉]
[賛美担当: ミッショントリップ、ピアノ: 米田 香姉、
[賛美リード: 倉知 契牧師、]
[献金: 太田昌子姉、加藤和代姉 受付: 下岡晶子姉]
◇PA: 平松章治兄、岡前順勝兄 ◇週報編集: 片岡洋一兄
◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: ミッショントリップ



来週の日曜日は、横田めぐみさんが50歳を迎える誕生日です。北朝鮮に拉致されて37年の月日が過ぎようとしています。テレビのニュースにもよく出て来る、母親でクリスチャンの横田早紀江さんの著書「愛は、あきらめない」(フォレストブック)に、当時を振り返ってこう書いています。

お友達とお揃いのラケットを持って、強化選手になってうれしそうに、元気に「行ってきまます」と出ていったのが最後でした。1977年の11月15日の夕方から、私たちの視界から(めぐみが)突然消えてしまったのです。5人だった家族は4人になり、何を食べてもおいしく感じない、悲しい毎日が続きました。私たちの何が悪かったのかと、わからない悲しさでいっぱい、私は暈をかきむしり、半狂乱になってしまいました。どこに行ったのだろう。どうしたのだろうとわんわん泣きながら海岸を走ったり、棒を持って、ラケットでもバックでもカバンの中の何でもないと探して雪の中を掘ってみたり、少しでもおかしいと思えば「調べてください」と警察にお願いしたりしました。テレビには5回も出て、呼びかけました。

娘をおもう母の心に胸が痛みます。我が子がそうなら想像しただけでゾッとします。このような早紀江さんの講演を聞いて、多くの中高生が、当たり前と思っていた家族と一緒にいること、親に叱られること、ご飯を食べて自由に勉強して生活できることがどんなに感謝なことか…とアンケートを残しています。私たちはもっと感謝して感謝して生きてゆくべきと思わされます。母・早紀江さんは、「きっと向こうにいる子どもたちも、絶対に生きて帰ろう、みんなが待っているんだと思っていますので、最後まであきらめません」ときっぱりと語り、どんなことがあっても待ち続け、祈り続けています。それが、親の愛。その手に娘さんを抱きかかえる時が来たら、それこそ半狂乱になって欣喜雀躍、躍り上がって喜ぶことでしょう。

父なる神様は、ご自分の子どもたちをサタンに奪われて半狂乱の苦しみの中におられます。一体どうしたらいいのだろうと、血の汗を流し、ついにひとり子を地上に送り、十字架で殺されても、私たち拉致被害者を奪回しようとしてくださったのです。今日の洗礼式は、まさに「失われた者が見出された」歓喜の日です。天のお父様が泣いて抱きしめてくださっています。この感動、喜び、はじめの愛を忘れずに、希望を捨てずに歩んでゆきたいと思えます！受洗おめでとうございます！

すべてわが名をもつてとなえられる者をこさせよ。わたしは彼らをわが栄光のために創造し、これを造り、これを仕立てた。イザヤ書四十三章七節